

# 令和5年度

「地震の想定震度7を体験していました。地震体験車に乗った住民は「体験車は揺れが来ると分かっていてるから身構えるけど、実際にこんな大きな地震が来たらパニックになると思うのでいい体験ができました」と話しました。」

訓練の最後には、NPO法人青森県防災士会むつ支部 峯 雅夫支部長が「自主防災組織と行政が一緒になって行う防災訓練は非常に素晴らしい取り組みだと思います。さらに、各地区リーダーが参加し体験したことで、各地区での「共助」、自主防災の取組、地域の防災力向上を期待したいと思います」と講評しました。その後、炊き出し訓練で炊いたお米で昼食にカレーライ스가提供されました。

当日は、防災の日かつ関東大震災から100年という節目の日でした。今一度、災害時に自分や大切な人の命を守るためにどうすればよいかについて考えていただければと思います。



地震体験をする早掛平地区住民



テントを参加者全員で設営



中野義信会長（早掛平自主防災会）による挨拶



間仕切り組立ての様子



段ボールベッド組立ての様子



組み立てた段ボールベッドで畑中村長と参加者が意見交換



上空からドローンによる集合写真撮影



ドローンからの映像を確認する参加者



東北電力株式会社によるEV車の紹介